

コース名	科目名		対象学年
臨床医学	救急医学		4
開講学期	科目責任者	副責任者	全体資料
1 学期	荻野 隆光	椎野 泰和, 井上 貴博, 宮本 聡美	有

授業到達目標

<知識>

1. 頻度の高い主訴 (common disease) の鑑別疾患を挙げる事ができる。
2. 心肺蘇生の基本である BLS、ACLS の内容、手順を説明できる。
3. 外因性疾患、特に多発外傷患者の初期診療の基本を JATEC の手順に従って説明できる。
4. 地域医療における、救急医療の位置づけを説明できる。
5. 救急医療における法的根拠を説明できる。
6. 災害医療、テロ時における医療者の役割、その行動原則を説明できる。

<技能>

1. 救急患者に対する診療のプロセスを理解し、臨床の現場で次に医療チームがとる行動を推測できる。
2. 緊急度・重症度を判断し、5人の患者の中からもっとも優先度の高い患者をトリアージすることができる。
3. 救急患者のなかで緊急手術の適応となる患者を判別できる。
4. 心肺蘇生の基本である BLS、ACLS を実践できる。

<態度・習慣>

1. 患者、その家族に対し、真摯な態度で接し、その不安を共有することができる。
2. 医療チームに積極的に参加し、初歩的な事であっても質問することで、医療チーム全体と円滑なコミュニケーションをとることができる。

授業計画

回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/ 2	火	1	講義	荻野	救急	救急医学概論 1 (救急医学教育)	B-1-7), G-4-1)-(7)
2	4/ 2	火	2	講義	荻野	救急	救急医学概論 2 (わが国の救急医療体制)	A-7, A-7-1)-2 A-7-1)-5, B-1-7)-5
3	4/ 8	月	1	講義	荻野	救急	トリアージ	A-7-1)-6, B-1-7)-6 E-5, E-6
4	4/ 8	月	2	講義	荻野	救急	病院前救急医療: ドクターヘリ・ドクターカー	G-4-1)-(7)-5, G-4-1)-(7)-6
5	4/12	金	4	講義	奥村	非常勤/ 附属病院	救急医療と法律	A-6-1)-3, B-2 B-2-2), B-2-2)-1
6	4/15	月	5	講義	高橋治	救急	大規模災害と災害医療 (DMAT 含む)	A-7-1)-6, B-1-7)-6 G-4-1)-(7)-6
7	4/15	月	6	講義	宮本聡	救急	人工呼吸	A-3-1)-6, D-6-4)-(1) F-1-15), F-2-12)-1 F-3-5)-(4)
8	4/26	金	1	講義	宮本聡	救急	気道管理 1	A-3-1)-6, D-6-1) D-6-4)-(1), F-1-15) F-3-6)-(4)
9	4/26	金	2	講義	宮本聡	救急	気道管理 2	A-3-1)-6, D-6-1) D-6-4)-(1), F-1-15)
10	5/ 7	火	5	講義	石松	医学部	テロと対策 1 (総論)	E-5, E-6-2) E-6-4), E-6-4)-1
11	5/ 7	火	6	講義	石松	医学部	テロと対策 2 (各論)	C-3-1)-(4)-6, C-3-1)-(4)-7 E-5-3)-(1)
12	5/14	火	1	講義	竹原	救急	症候 1 (外傷の初期治療 (JATEC))	A-3-1)-6, F-1-37) G-2-6), G-2-37)
13	5/14	火	2	講義	高橋治	救急	救急と死 (脳死判定を含む)	B-2-1), E-9 F-2-15)-4
14	5/17	金	5	講義	竹原	救急	症候 2 (外傷治療 臓器損傷別 1)	A-3-1)-6, F-1-37) G-2-6), G-2-37)
15	5/17	金	6	講義	竹原	救急	症候 3 (外傷治療 臓器損傷別 2)	A-3-1)-6, F-1-37) G-2-6), G-2-37)
16	5/21	火	3	講義	山田祥	救急	症候 4 (発熱・バイタルサイン異常)	D-1-3)-1, D-5-3)-1 E-2-3)-2, F-1-1) G-2-1), G-3-4)-1
17	5/21	火	4	講義	椎野	救急	症候 5 (頭痛)	D-2-3)-4, D-5-3)-18 E-2-3)-16, F-1-33) G-2-21)-3, G-2-33)

18	5/27	月	5	講義	椎野	救急	症候 6 (失神・意識障害)	D-2-3)-2, D-5-3)-6 D-5-4)-(10)-2, E-2-3)-4 E-5-2)-3, F-1-7)
19	5/27	月	6	講義	椎野	救急	症候 7 (ショック)	C-4-4)-3, D-5-3)-5 E-2-3)-1, E-4-2)-1 F-1-5), G-2-5)
20	5/31	金	1	講義	宮本聡	救急	症候 8 (呼吸困難)	D-5-3)-11, D-6-3)-(2)-3 E-2-3)-13, F-1-15) G-2-15)
21	5/31	金	2	講義	井上貴	救急	症候 9 (胸痛)	D-5-3)-12, G-2-16)
22	6/ 3	月	3	講義	荻野	救急	症候 10 (腹痛)	D-5-3)-16, D-7-4)-(7)-1 E-2-3)-17, F-1-20)-1 G-2-20)
23	6/ 3	月	4	講義	椎野	救急	症候 11 (挫滅症候群・横紋筋融解・コンパートメント症候群)	D-4-4)-(1)-4
24	6/ 7	金	1	講義	椎野	救急	症候 12 (敗血症)	C-4-4)-3, E-2-1)-1 G-2-5)-4
25	6/ 7	金	2	講義	山田祥	救急	症候 13 (熱傷)	E-5-3)-(3)-1, E-5-3)-(3)-2 F-1-37)-1, F-1-37)-2 F-1-37)-3, G-2-10)-3
26	6/11	火	3	講義	澤原	非常勤/ 医福大	症候 14 (精神科疾患)	D-15-1), D-15-2) D-15-3), F-1-31) G-2-31), G-4-1)-(5)
27	6/11	火	4	講義	山田祥	救急	症候 15 (熱中症・減圧症・低体温)	E-5-3)-(2)-1, E-5-3)-(2)-2 E-5-3)-(2)-4, G-2-6)-5 G-2-10)-3
28	6/14	金	1	講義	高橋治	救急	症候 16 (生物咬傷・異物)	E-2-4)-(2)-12
29	6/14	金	2	講義	井上貴	救急	症候 17 (中毒 1)	E-5-1)-1, E-5-3)-(1)-2 E-5-3)-(1)-3, E-5-3)-(1)-4 E-5-3)-(1)-5, E-5-3)-(1)-6
30	6/20	木	4	講義	井上貴	救急	症候 18 (中毒 2)	E-5-1)-1, E-5-3)-(1)-2 E-5-3)-(1)-3, E-5-3)-(1)-4 E-5-3)-(1)-5, E-5-3)-(1)-6
31	6/28	金	1	講義	井上貴	救急	心肺脳蘇生法	D-5-3)-20, D-5-4)-(3)-6 F-1-6), F-3-6)-(4)-2 G-3-4)-2, G-3-4)-3
<b>評価方法</b>								
[期末試験]100% (授業全般にわたっての理解を記述式の試験にて確認する。)								
[評価方法]多肢選択試験、出席・受講態度評価								
[備考]定期試験の成績によっては出席状況を評価に反映することがある。								
<b>課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックについて</b>								
定期試験後にフィードバック講義等を行う予定はありません。講義・試験問題等に質問があれば、救急医学の講義担当者に直接質問してください。								
<b>教科書</b>								
ISBN-978-4-260-01755-8, 標準救急医学 第5版, 日本救急医学会 (監修), 医学書院, 2014/01								
<b>参考書</b>								
ISBN-978-4-89269-945-0, 改訂第5版 救急診療指針, 日本救急医学会 (監修), 日本救急医学会専門医認定委員会 (編集), へるす出版, 2011/04								
ISBN-978-4-89269-898-9, 改訂第5版 外傷初期診療ガイドライン JATEC, 日本外傷学会, 日本救急医学会 (監修), 日本外傷学会外傷初期診療ガイドライン改訂第5版編集委員会 (編集), へるす出版, 2016/11								
<b>準備学習 (予習・復習等)</b>								
予習: 全体資料により講義内容を確認し、指定教科書の該当部分を通読しておくこと。								
復習: 講義当日の配布資料で再度確認すること。								
<b>講義についての注意事項</b>								
原則、講義は必ず出席して、積極的に質問をしてください。								

昨年度からの変更点・改善項目

昨年から講義の担当者が一部変更になった。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

本授業科目を学び、その後さらに、臨床実習を行うことにより、より深く救急医学を理解することが、卒業判定に求められる試験を克服することに役立つ。

ナンバリング

DLEC407